

神奈川県立海洋科学高等学校
漁業ガイダンス・漁師の仕事!知る授業

5 月 9 日、神奈川県立海洋科学高等学校実習棟 2 階教室で、漁業ガイダンスの「漁師の仕事!知る授業」が行われ、神奈川県立海洋科学高等学校の本科 2 年生 9 人と本科 3 年生 2 人、専攻科 2 年生 1 人の計 12 人が出席した。

この漁業ガイダンスは全国漁業就業者確保育成センターが中心となり、本組合のほか、住吉漁業株式会社、大洋エーアンドエフ株式会社、共同船舶株式会社、株式会社長久丸、勝倉漁業株式会社、有限会社廣屋の 6 社が参画した。

ガイダンス開始にあたり、全国漁業就業者確保育成センターの北井楓係長から、本ガイダンスの趣旨説明があり、海員組合からは「各社からの説明を受けて漁船の魅力を知っていただき、将来漁船船員を目指す際の参考にしていただきたい」とあいさつした。

ガイダンスは 6 社で 4 ブースを設置、各ブースで担当者から、漁業の種類や漁法、船内での生活や会社概要などについて、約 10 分間の説明を受けた。

カニかご漁船で捕獲したマルズワイガニを船内で脱甲作業する動画や、底はえ縄漁船で捕獲したマゼランアイナメの説明など、パソコンによる動画のほか、共同船舶株式会社の捕鯨船や目視調査船など、各社各様の船の種類や漁法について説明し、生徒たちの注目を集めた。

遠洋マグロはえ縄漁船では、漁法をはじめ乗船期間や船内生活などのほか、海外寄港時のようすなど、遠洋漁船の魅力を伝えた。

生徒たちは、会社側の丁寧な説明を受け、各社の概要をノートにメモを取る姿が見受けられた他、将来は遠洋マグロはえ縄漁船に乗りたいとの決意を示す生徒もあり、多くの意見交換が行われ、生徒たちも理解を深め、漁業ガイダンスを終了した。

「海員だより」